



校長室だより

2023年6月19日
校長 橋本 顕嗣



自然災害から命を守るために

例年6月は宮城県・仙台市のほとんどの学校で防災訓練・避難訓練が実施されます。6月の訓練は地震を想定して行われることがほとんどで、郡山小学校でも6月8日に地震を想定した避難訓練と防災学習が行われました。これは、6月12日が宮城県民防災の日に指定されていて、宮城県・仙台市にとって東日本大震災が起きた3月と並び、忘れてはならない日となっているからです。

今から45年前、1978年（昭和53年）6月12日午後5時14分、マグニチュード7.4、震度5の大きな地震が宮城県・仙台市を襲いました。この地震は、「1978年宮城県沖地震」と命名され、都市型地震の典型といわれました。当時、小学校4年生だった私は自宅の庭にいました。両親は仕事で家におらず、中学生の姉も部活で（中総体期間中）あり、一人でいるときでした。突然の大きな揺れでどうすることもできず、とても怖かったことを今でも覚えています。また、その後のニュースで地震発生時にコンクリートのブロック塀に身を寄せた人が倒壊したブロック塀の下敷きになり、犠牲となったということや、大人たちがあちこち建物や塀の話をしていたことを記憶しています。今にして思えば、私はたまたま庭にいたから怪我も無かったのであり、家の中にいたら、または道路にいたら大変なことになっていたかもしれません。帰宅してきた家族と無事に会えてときは本当に安心しました。この地震の後、建物の耐震基準が見直されるなど、発生した被害を教訓とする法律の改正や防災の取組が実践され、現在に至っています。

歴史的に見てみると、宮城県沖を震源とする地震は繰り返し発生しており、江戸時代の仙台藩の文献「伊達治家記録」によると仙台城の石垣や櫓などの建物も江戸時代に何度も大きな地震に襲われて倒壊したとの記録が残っています。つまり、今後も大きな地震が繰り返し発生することはほぼ間違いないということです。そこで私たちにとって地震に備えること、防災の取組はとても重要ということになります。地震は子どもたちが学校にいるときに起きるとは限りません。子どもたちが家に一人でいるときに起きる可能性もありますから、普段から防災に対する意識を高め、防災訓練・避難訓練を通して防災について学ぶことが全ての人にとって大切です。学校だけでなく、ご家庭でも備えたり、話し合ったりすることをお願いします。

6月24日（土）に郡山小学校を会場に地域防災訓練が実施されます。（9：50～11：55）当日は自衛隊の方の講話や普段見ることのできない装備等の展示もあり、防災意識を高めたり、知識を得たりする貴重な機会です。お子さんと一緒にこの訓練に参加してみたいかご検討ください。

〔 お願い 〕

今後も「学校だより」「校長室だより」「学校ホームページ」等で学校からの情報発信に努め、風通しの良い学校を作っていくために努力して参ります。御意見、御提案、御要望等は随時学校までお知らせくださいますよう、お願いいたします。